

▶ 予測できる災害への対応 風水害・土砂災害

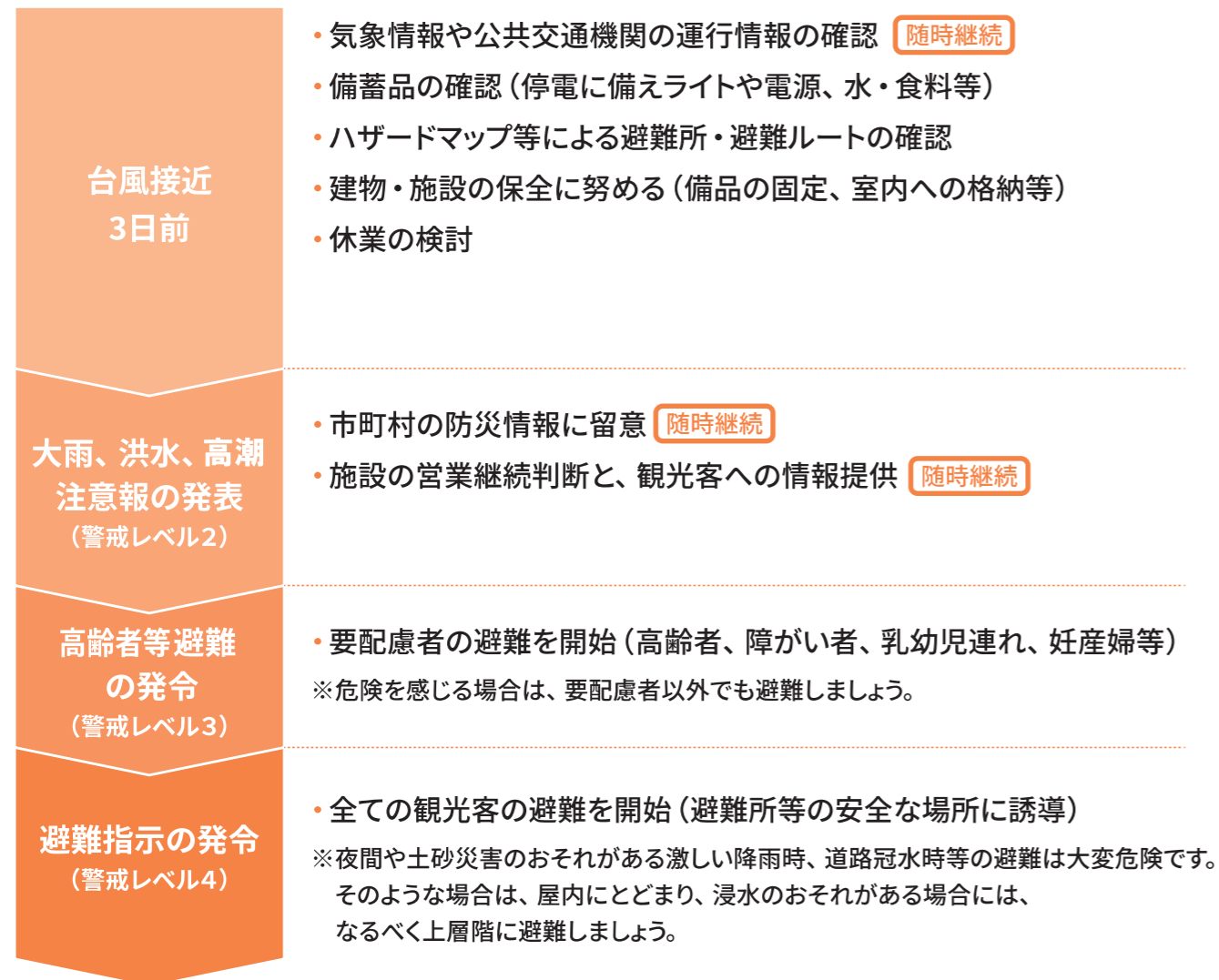
風水害等は、気象情報等からある程度被害を予測することができます。

災害が迫っているときは以下の流れを参考に早めの対策を行きましょう。

※台風による浸水や土砂崩れ等、建物に被害が生じた場合は、「突発的な災害への対応(地震・津波)」を参考にしましょう。

▶ 予測できる災害 / p.3 ▶ [備えておくこと] チェックリスト / p.4~5 ▶ 突発的な災害への対応(地震・津波) / p.8~19

対策と対応の流れ



風水害・土砂災害

情報の確認と適切な判断を

災害が迫っているときは、

- 屋外にある飛びやすい備品等の固定や室内への格納等
- 気象情報や公共交通機関、道路情報の確認や観光客への情報提供(帰宅等の促進)
- 休業等を含めた施設の営業継続判断
- 停電への備え 等

早めの対策を行きましょう。

また豪雨によって、短時間での増水や局所的な被害が生じる可能性があります。土砂災害等のおそれがある危険なエリアには近づかないよう、呼びかけましょう。

▶ ハザードマップポータルサイト / p.28

▶ e-かなマップ / p.28

▶ 災害発生時の情報源 / p.29

▶ 災害対応多言語文例集 / p.34

▶ ピクトグラムと災害対応多言語文例集の併用 / p.36~39



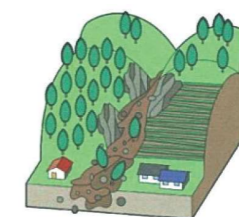
土砂災害の兆候

右図のような兆候があれば避難をしましょう



地すべり

- 地面にひび割れができる。
- 井戸や沢の水がにごる。
- がけや斜面から水が噴き出す。



土石流

- 山鳴りがする。
- 雨が降りつづくのに川の水位が下がる。
- 川がにごったり、流木が流れる。



かけ崩れ

- がけからの水がにごる。
- がけに亀裂が入る。
- 小石が落ちてくる。
- がけから音がする。

土砂災害の兆候について / 出典：由布市「由布市観光事業者災害対応マニュアル」

▶ 予測できる災害への対応

雪害・感染症

雪害

事前の対策として

- ・ 気象情報、公共交通機関、道路情報の確認
- ・ 除雪作業
- ・ 休業の検討 等

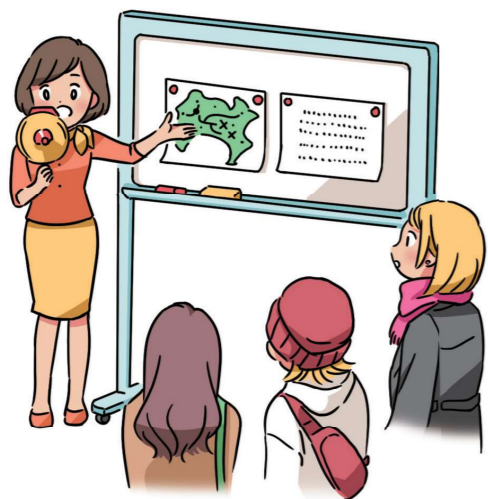
早めの対策と観光客への情報提供等を行きましょう。

休業等を決定した場合には、ホームページやSNS等を活用して、早めに観光客に発信しましょう。

また、災害の状況に応じて、避難所や一時滞在施設を自治体のホームページ等で確認し、観光客を誘導しましょう。

▶ 災害対応多言語文例集 / p.35

▶ ピクトグラムと災害対応多言語文例集の併用 / p.36~39



感染症

事前の対策として、

- ・ アルコール除菌スプレーの設置
- ・ マスクの着用や手洗い、うがいを呼びかけるポスターの掲示

早めの対策を進めましょう。

また、テレビ、ラジオ等で最新の情報を確認し、対策を進めましょう。

施設内の感染症の拡大等を踏まえ、営業縮小や休業等の検討をしましょう。

実際に発熱等の感染症の症状が見られる方が施設に来た場合、最寄りの保健所に相談しましょう。

(下記二次元コードより、最寄りの保健所を確認できます。)

▶ 災害発生時の情報源 / p.29

▶ 災害時多言語文例集 / p.35

▶ 防災情報リスト / p.40

参考ツール

関連サイト

厚生労働省
保健所管轄区域案内



コラム

高齢者、障がい者、乳幼児連れ、妊産婦等への配慮

高齢者、障がい者、乳幼児連れ、妊産婦等（要配慮者）の方々に気象情報や公共交通機関の運行状況を発信したり避難誘導等を行う際には以下の配慮が必要です。

- ・ 音声や地図等の視覚情報による伝達
- ・ 周囲の方の協力を得ながら車いすによる介助

配慮が必要な内容は個人によって異なりますので、コミュニケーションを取りながらその人に合った支援を行きましょう。

避難訓練の際、災害発生時に要配慮者を避難誘導する方法を検討しておくなど、平時から要配慮者を想定した災害対策を進めることが重要です。



観光庁
接遇マニュアル



災害発生等の緊急時だけでなく、チェックイン時や観光ガイドによる案内時等の場面に応じて、高齢者、障がい者等（要配慮者）への対応ポイントについて、「宿泊施設編」、「旅行業編」、「観光地域編」に分けてまとめられています。

MEMO
